

基本目標 4

ひとが集う、安心して
暮らすことができる
魅力的な地域をつくる

安全・安心で、持続可能な
まちづくりを推進し、
若者等のひとが集まり、
定着につながるよう、
まち全体の魅力向上を目指します。

数値目標

項目	基準値(H30)	目標値(R6)
市民が住みやすいと思う割合	61.7% (R元)	65.0%

関連するSDGs開発目標



● 基本的方向 (1) | 将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進

- ① 防災・防犯対策の推進
- ② 誰もがいつでも安心して必要な医療を受けられる環境の整備
- ③ 医療・介護・福祉等の地域を支えるサービスの確保
- ④ 自動走行等の新技術を活用した新たな公共交通サービスの推進
- ⑤ 交通渋滞の解消、都市アクセス向上等に向けた交通インフラの整備

● 基本的方向 (2) | とともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり

- ① とともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり

基本的方向(1)

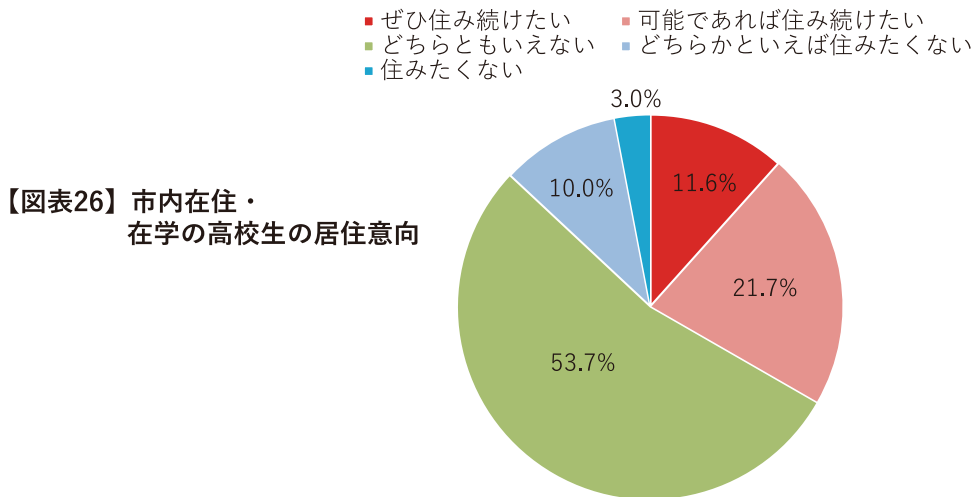
将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進

現状と課題

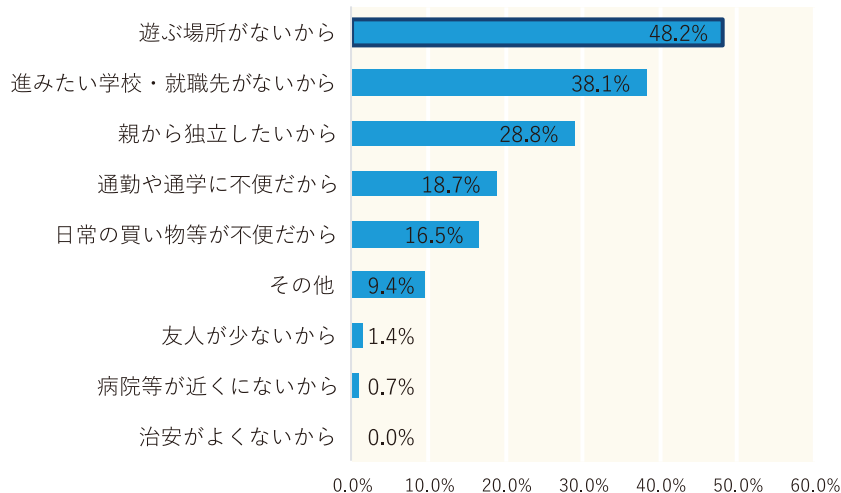
- 「住みたい」、「住み続けたい」と思えるようなまちであり続けるためには、都市機能、日常生活サービスを維持・確保するとともに、地域資源を最大限に活かした魅力的な地域づくりを進めることが重要です。
- また、急速な高齢化にも対応し、市民の方々が安心して暮らせるまちを実現するため、市民の生活に必要な不可欠な医療・介護・福祉・公共交通などのサービスの確保や、地域における防災・防犯の機能の向上が重要です。

施策の方向

- 市民が本市での生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。
- 未来技術の活用などにより、市民の生活を支えるサービス機能を確保し、新しい時代に適応したまちづくりに取り組みます。



【図表27】市内在住・在学の高校生が居住継続を希望しない理由
 (複数回答)



【出典】2019(令和元)年 高校生アンケート調査

具体的施策① 防災・防犯対策の推進

- ・ 激甚化する自然災害に備えるため、災害時の広報手段や避難所機能、地域の防災体制の充実に努めます。
- ・ 市民が安全に安心して暮らせるまちづくりをより一層推進するため、防犯カメラの設置を推進するとともに、LED化の推進を含めた防犯灯維持管理体制の充実に図り、併せて、市民の防犯意識の向上や地域の防犯活動を支える人材の育成などに努めます。

重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値(H30)	評価指標(R6)
自主防災組織の世帯カバー率	100%	100%
人口1,000人当たりの 刑法犯認知率【後】	4.658 件/年	4.282 件/年

具体的な取組

- 【**拡充**】地域防災力及び災害対応力の向上を図るため、洪水や土砂災害など様々な災害への防災対策を行います。
- 【**新規**】市内を7地区に分けて、気温や降水量を予測することにより、局地的な大雨や凍結・熱中症予防に活かします。
- 【**拡充**】防犯灯のLED化を進めるとともに、防犯カメラの整備を行うことにより、犯罪の未然防止を図り、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進します。

主な事業

- 拡新** 洪水避難施設整備事業
マイタイムライン
普及啓発及び危険箇所
マップ検討事業
- 拡** 避難所Wi-Fi整備事業
〈防災対策課〉
- 新** 地区別天気予報発表
事業
〈環境政策課〉
- 拡** 防犯灯設置補助事業
及び防犯灯の在り方
検討事業
- 拡** 次期防犯カメラ整備
計画策定及び設置事業
〈交通防犯課〉



具体的施策②

誰もがいつでも安心して必要な医療を受けられる環境の整備

- 医師や看護師などの医療資源が不十分とされる県北地域において、市民がいつでも、安心して、身近な地域で必要な医療を受けられるよう、茨城県などと連携し、地域医療体制及び救急救護体制の更なる充実を図ります。

重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値(H30)	評価指標(R6)
人口10万人当たりの医師数【後】【戦】	185.3人	198人

具体的な取組

主な事業

- 【継続】かかりつけ医との連携や24時間体制での救急医療の確保など、重要な政策医療を担う地域医療支援病院の機能強化を図るために必要な、医療機器整備などに要する経費の一部を補助します。
- 【継続】社会医療法人の認定を受け、公益性の高い医療を提供する公的病院などに対し、救急医療などに従事する医師を確保するために必要な経費の一部を助成します。
- 【継続】県北臨海3市(日立市・高萩市・北茨城市)が連携し、ラピッド方式ドクターカーを引き続き運用するなど、救急救護体制の充実に取り組みます。

●【継続】地域医療支援病院機能強化補助事業
(地域医療対策課)

●【継続】公的病院等医療体制強化事業
(地域医療対策課)

●【継続】ラピッド方式ドクターカー活用事業
(警防課)



具体的施策③

医療・介護・福祉等の地域を支えるサービスの確保

- 人口減少による様々な課題に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、医療、介護、福祉などの地域を支える各種サービスにおいて、未来技術の活用を促進します。

重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値(H30)	評価指標(R6)
要支援・要介護に該当しない平均期間	男：78.6年 女：81.8年	男：79.4年 女：82.6年

具体的な取組

- 【継続】ロボット手術支援システム「ダヴィンチ」の活用拡大と総合的にがん診療ができる体制に必要な高度専門技術を習得する医師を確保する取組を支援します。
- 【新規】介護従事者の負担軽減・労働環境の向上と、介護サービスの確保を図るため、事業所に対する介護ロボットの活用促進に関する情報提供などの支援策を検討します。

主な事業

- 【継続】高度専門医療体制確保事業
〈地域医療対策課〉



© 2015 Intuitive Surgical

具体的施策④

自動走行等の新技術を活用した新たな公共交通サービスの推進

- 誰もが自由に移動しやすいまちづくりを推進するため、ひたちBRTを基軸としたバス路線の再編や、鉄道を含めた公共交通ネットワークの形成を図るとともに、MaaS*などの新たなモビリティサービスの導入や自動走行などの新技術の活用を推進します。

具体的な取組

- 【拡充】民間企業と連携し、日立市版MaaSアプリを活用した「日立地域MaaS実証実験」に取り組みます。
- 【拡充】民間企業と連携し、ひたちBRTにおける中型自動運転バスの実証実験に取り組みます。
- 【拡充】高齢者や自家用車を運転しない人などの交通弱者対策として、新たなモビリティサービスの実証実験に取り組みます。
- 【拡充】地域、民間企業などとの連携によるパートナーシップ事業を展開し、公共交通の利便性向上に取り組みます。

主な事業

- 拡 日立地域MaaS実証実験
〈都市政策課〉
- 拡 中型自動運転バス実証運行
〈都市政策課〉
- 拡 交通弱者対策としての試験運行
〈都市政策課〉
- 拡 公共交通政策検討事業
〈都市政策課〉



※MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）

スマートフォン等から検索～予約～支払を一度に行えるようにし、ユーザーの利便性を大幅に高めたり、移動の効率化により都市部での交通渋滞や環境問題、地方での交通弱者対策などの問題の解決に役立てようとする考え方の上に立っているサービス（総務省のウェブサイトから引用）

具体的施策⑤

交通渋滞の解消、都市アクセス向上等に向けた交通インフラの整備

- 長年の課題である交通渋滞の解消や、都市アクセスの向上を図るため、幹線道路の整備やJR常磐線の混雑解消対策など、市民の利便性向上や地域経済基盤強化に資するインフラ整備などを促進します。

重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値(H30)	評価指標(R6)
国道及び県道の事業中路線の進捗率	29.8%	50.0%
JR東日本市内各駅1日平均乗車人数【戦】	33,137人/年度	33,000人/年度

具体的な取組

- 【継続】地域経済の好循環の醸成や緊急輸送路の確保、緊急医療に必要な不可欠な道路ネットワークの確立に向け、幹線道路の整備を促進します。
- 【継続】国道6号大和田拡幅及び日立バイパスII期事業の整備を促進し、国道6号の機能強化に向けた取組を進めます。
- 【継続】日立市多賀地区と常陸太田市の中心市街地を東西に連絡する幹線道路(真弓ルート)の整備に取り組みます。
- 【継続】JR常磐線の利便性向上、機能強化に向けた取組を進めます。

主な事業

- 幹線道路整備促進事業
〈幹線道路整備促進課〉
- 国道6号整備促進事業
〈幹線道路整備促進課〉
- 国道6号大和田拡幅
取付道路整備事業
〈道路建設課〉
- 金沢町地内道路整備事業
〈道路建設課〉



基本的方向 (2)

ともに支え合う 地域コミュニティの担い手づくり

現状と課題

- ・ 人口減少の中、地域の課題解決のための担い手が不足し、地域コミュニティの維持が困難になることが懸念されます。
- ・ 地域コミュニティは、子育て支援や子どもの見守り、清掃・防犯などの各種地域サービスの維持や災害対応力の向上、市民のシビックプライドの醸成など、多様な意義や価値を有するのみならず、地域の合意形成を図る上でも重要であり、引き続き、その維持・強化が必要です。

施策の方向

- ・ 地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織などを支援し、一人一人の多様な社会参加と地域社会の持続の両方を実現する地域共生社会を目指します。



具体的施策①

ともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり

- ・ 子育て世帯の安心感につながり、高齢者も含めた全世代にとって快適で魅力的なまちとなるよう、誰もが役割を持つ支え合いの地域コミュニティづくりを推進します。
- ・ 地域社会の担い手を確保するため、地域に潜在する人材の掘り起こしなどを推進します。

重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値(H30)	評価指標(R6)
地域活動に参加している人の割合【後】	39.2% (R元)	39.2%
1週間当たりの高齢者(70歳以上)の外出日数	4.3日/週	4.8日/週

具体的な取組

- 【新規】 将来に向けて持続可能なコミュニティの在り方を検討する委員会を設置し、関係人口などの新しいかかわり方や若者の価値観の変化など、時代の潮流を踏まえた地域コミュニティの在り方を検討します。
- 【新規】 健康寿命の延伸に向け、介護予防、健康づくりなどに取り組むボランティア団体の活動を支援します。
- 【拡充】 高齢者が住み慣れた場所で、生き生きと生活を送ることができるよう、いつでも、だれでも、安心して集い、交流できる場の整備を推進します。
- 【拡充】 70歳以上の高齢者の閉じこもりの防止と介護予防事業などへの参加を促進するため、路線バス運賃カードの割引販売などを含め、総合的な高齢者の外出支援を推進します。
- 【新規】 民間団体が主体となっていく公共空間の活用や清掃・防犯活動、イベントなどのまちづくりの取組(エリアマネジメント)の推進を検討します。

主な事業

- 【新】 コミュニティ活動の在り方検討事業
〈コミュニティ推進課〉
- 【新】 健康づくりボランティア応援事業
〈健康づくり推進課〉
- 【拡】 高齢者居場所づくり事業
〈高齢福祉課〉
- 【拡】 高齢者おでかけ支援事業
〈高齢福祉課〉